

紫外線で菌除去 装置寄贈先募る

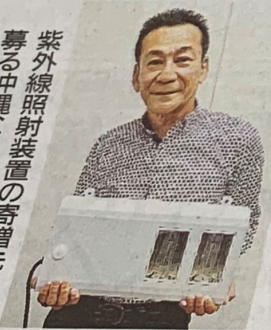
沖縄CO2削減推進協

沖縄CO2削減推進協議会
（那覇市、瑞慶覧長臣代表表
事）はこのほど、紫外線を照
射して室内のさまざまな菌や
ウイルスを不活性化する装置
を独自に開発した。病院や介
護施設を対象に100台限定
で無償提供する方針で、寄贈
先を募っている。

照射装置は、沖華産業（那
覇市）と共同で開発。紫外線
の波長は210ナノメートル〜230
ナノメートルで、一般的な殺菌などに
使用される紫外線と比べ、人
体への影響が少ないという。
40分の5分間の照射で、A型
インフルエンザウイルスが99
・99%不活性化することが確
認されたという。室内の天井
に設置し、照射時間は安全基
準に沿って使用する。

同協議会「コロナ対策商品開
発局の知念勇喜局長は「一人が
いる空間で活用できる装置に
なっている。感染対策の一つ
として役立ててほしい」と話
した。

寄贈の申し込みは同協議会
のホームページから。問い合
わせは開発局、電話098(8
63)5745。



紫外線照射装置の寄贈先を
募る沖縄CO2削減推進協
議会の知念勇喜氏（20日、
沖縄タイムス社）